



女性消防団員ならではの 小学生に防災教育

【strong point/ここが言いたい!】

災害が起きた時の対応について関心を持ってもらおうと、秩父市消防団の女性消防部隊では、市内の学童保育室に通う小学生を対象に防災教室を開きます。

【日時】

時 間	9:30~10:30	11:00~12:00	13:30~14:30
月 日	場 所		
7月25日		大田	
8月1日	荒川	久那	高篠第2
8月8日	高篠第1	影森	宮地
8月22日	花の木第1	西第2	西第1

※荒川学童保育室は、荒川東小学校内になります。

※宮地学童保育室は、秩父第一小学校内になります。



【内容】

- ①火事、地震について
- ②紙しばい「災害が起きたらどうする」
- ③いざという時「レインコートの作り方」 など

【記者の皆様へ】

取材をご希望される場合は、お手数ですが担当者まで事前にご連絡ください。

【next plan/今後の事業展開】

女性消防団員の活動状況をPRするとともに、防災の広報や消防団員募集活動を進めます。

総務部危機管理課

担当者：坂本

☎0494-22-2206

FAX：0494-22-1363





「出前講座」を開始します

【strong point/ここが言いたい!】

市民の皆さんが開催する集会や会合等へ市職員が訪問し、市の施策や制度、事業等についてわかりやすく説明する「出前講座」を行います。市政の透明性の確保、市と市民による協働のまちづくりにつなげることを目標としています。

この「出前講座」は、令和5年度 秩父市職員提案にて採用となった取り組みです。

- 開始日 8月1日(木)
- 開催日 年末年始を除く平日。土日祝希望の場合は担当課と要相談。
- 開催方法 対面方式
- 受講料 原則無料(講座によって会場利用料や材料費等がかかる場合があります)
- 利用できる方 秩父市に在住・在勤・在学の5人以上が参加する団体等(一部講座を除く)
- 現在受講できる講座
 - ・ジオパーク秩父って知っていますか? ・秩父市の財政状況
 - ・こころのサインに向き合う方法を知ろう!(ゲートキーパー養成講習) ・秩父市の森林林業
 - ・地区健康講習会 ・認知症サポーター養成講座 ・交通安全教室 ・はじめよう人生会議
 - ・災害に備えよう ~ハザードマップを活用しよう~ ほか3講座

【next plan/今後の事業展開】

今後各課で調整し、随時開講できる講座を増やしていき、市政への理解や関心を深めていただけるよう取り組んでまいります。

総合政策部広報広聴課

担当者: 藤澤

☎0494-22-2505

FAX: 0494-24-7272





全国で2か所「ドローン航路」整備の先行地域に選定されました

～デジタルライフライン全国総合整備計画「アーリーハーベストプロジェクト」～

秩父市は、政府が進める「デジタルライフライン全国総合整備計画」におけるアーリーハーベストプロジェクト「ドローン航路」整備の先行地域に選定され(3/28)、この内容が盛り込まれた「デジタル社会の実現に向けた重点計画」が6月21日に閣議決定されました。

また、同プロジェクトの推進にあたり、7月23日には、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)により、事業概要と公募採択による推進体制が発表され、今後、先行地域に選定された秩父地域と浜松市にて、ドローン航路の整備が国家プロジェクトで推進されます。

ドローン航路

日本電気株式会社、KDDIスマートドローン株式会社、Intent Exchange株式会社、宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合、グリッドスカイウェイ有限責任事業組合、株式会社トラジェクトリー、国立大学法人東京大学、株式会社フジヤマ

事業概要

- ・ 地上及び上空リスク等の制約要因に基づいて立体的に空域の航路を画定し、航路内部の安全かつ簡便な運航に必要な情報配信及び安全管理の支援等を統合的に行うドローン航路システム等を開発する。
- ・ ドローン関連データを流通するためのシステム等を構築する。
- ・ ドローン航路内の安全・効率的な運航のため、ドローン航路に係る管理手法やルール等について、調査・研究を行う。
- ・ 先行実装地域(秩父、浜松)において、送電網の管理、河川上空のマルチユース実証を行い、ドローン航路の有効性を確認する。

事業イメージ

秩父・浜松エリアでのユースケース

送電網の点検(秩父)

送配電事業者に対してドローン航路サービスの商用利用を150kmの範囲で開始

送電網の点検



河川上空の航路のマルチユース(浜松)

河川上空のドローン航路を、河川点検と物流事業のマルチユースとして180kmの範囲で整備

出典:NEDO HP「産業DXのためのデジタルインフラ整備事業/デジタルライフラインの先行実装に資する基盤に関する研究開発に係る実施体制の決定について」より抜粋

この選定を受けて、市では、ドローン活用の社会実装を目指し、若手職員による庁内ワーキンググループを発足するとともに、今後、官民連携による「コンソーシアム」の設立に向けて会員募集をスタートします。整備するドローン航路のサービス利用を前提としたさまざまなユースケースを検討し、地域課題の解決と先駆的なまちづくりで新たな価値を創出していきます。

産業観光部 先端技術推進課

担当者：笠井

☎：0494-21-5522

FAX：0494-25-0136



秩父市イメージキャラクター
ポテくんまん



第4回 未来技術エキシビション in 秩父を開催します

～秩父市 Society5.0 事業～

秩父市では、市内山間地域の少子高齢化による「ヒトとモノ」の移動の困難さに着目した Society 5.0 社会の実現に向けた「秩父市山間地域におけるスマートモビリティによる生活 交通・物流融合事業（令和2年度／内閣府地方創生推進交付金（Society5.0 タイプ）採択事業）」を推進しています。

そこで、先進的な取り組みを住民の皆さんに紹介する「未来技術エキシビション」を開催します。

今回は、小中学生を対象とした「トイドローンの操縦体験（タイムトライアル）」や、プロのレーザーによる本格的な「ドローンレース」の実演を行います。

また、「秩父市 Society5.0 事業」の取り組みをパネルで紹介するほか、物流用ドローンの機体展示なども予定しています。ぜひ取材にお越しください。

◆日時 9月21日（土） 午前10時～午後4時（予定） ※参加費無料

◆場所 地場産センター（4階）



（レースに使用するドローンイメージ写真）

◆対象 小中学生 ※要予約

※「ドローンレース」、「秩父市 Society5.0 事業」の紹介パネルや物流用ドローンの機体展示などは予約不要で、どなたでもご覧いただけます。

◆申込方法 「トイドローンの操縦体験（タイムトライアル）」のお申し込みは、市報8月号に掲載する2次元コードを読み取って、お申し込みいただきます
※8月28日（水）から先着順で受付を開始します。

産業観光部 先端技術推進課

担当者：山中、富田

☎：0494-21-5522

FAX：0494-25-0136

